

■ 会社概要 (2020年9月30日現在)

社 名 株式会社構造計画研究所
 英文商号 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc.
 設立年月日 1959年5月6日
 資本金 1,010百万円
 決算期 6月
 上場市場 東京証券取引所 (JASDAQスタンダード)
 事業内容 エンジニアリングコンサルティング /
 プロダクツサービス

■ 事業所所在地

本 所 〒164-0012 東京都中野区本町4-38-13
 日本ホルスタイン会館内
 本 所 新 館 〒164-0011 東京都中野区中央4-5-3
 中野坂上別館 〒164-0011 東京都中野区中央1-38-1
 住友中野坂上ビル5F・10F
 名古屋支社 〒450-6325 愛知県名古屋市中村区名駅1-1-1
 JPタワー名古屋25F
 大阪支社 〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町3-6-3
 御堂筋MTRビル5F
 福岡支社 〒812-0012 福岡県福岡市博多区
 博多駅中央街8-1 JRJP博多ビル8F
 熊本構造計画研究所 〒869-1235
 熊本県菊池郡大津町室1315
 上海駐在員事務所 〒200120 中華人民共和国上海市浦東新区
 世紀大道100号 上海環球金融中心15F
 KKE SINGAPORE PTE. LTD. Level 11, Marina Bay Financial Centre
 Tower 1, 8 Marina Blvd, Singapore 018981

■ 株式の状況 (2020年9月30日現在)

発行可能株式総数 21,624,000株
 発行済株式総数 5,500,000株
 株 主 数 3,253名

■ 株主メモ

事業年度 7月1日～翌年6月30日
 定時株主総会 毎年9月
 配当金受領株主確定日 3月31日、6月30日、9月30日及び12月31日
 基準日 6月30日
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関
 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1
 (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)

公告の方法 電子公告により行う
 公告掲載URL <https://www.kke.co.jp> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)



Innovating for a *Wise Future*



証券コード
 4748

第63期 第1四半期 株主通信

2020年7月1日～2020年9月30日

ヒト・モノ・コトをつなぐエンジニアリングで、
 社会をうごかすさまざまな仕組みを創出していきます。

第1四半期累計期間の業績

当第1四半期累計期間の当社の経営成績は、売上高は19億9百万円（前年同四半期は25億46百万円）、営業損失は3億18百万円（前年同四半期は55百万円の利益）、経常損失は3億33百万円（前年同四半期は31百万円の利益）、四半期純損失は2億84百万円（前年同四半期は17百万円の利益）となりました。

受注残高は、前事業年度から繰り越された豊富な受注残高に加え31億36百万円（前年同四半期は38億41百万円）の受注を獲得したことで、前年同四半期を上回る76億53百万円（前年同四半期は75億72百万円）を確保しております。今後は、既存顧客を中心とした積極的な受注獲得に努め、計画の達成を目指してまいります。

売上高

(単位：百万円)



営業利益または損失

(単位：百万円)



経常利益または損失

(単位：百万円)



当期純利益または損失

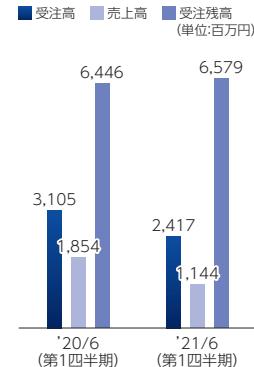
(単位：百万円)



セグメント別の概況

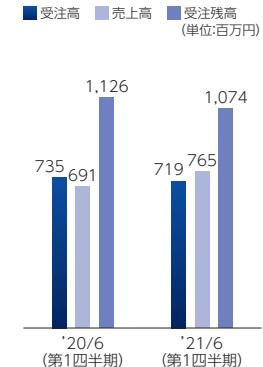
エンジニアリングコンサルティング

構造設計コンサルティング業務、住宅メーカー向けシステム開発業務、及び建設・製造業向けシステム開発業務が堅調に推移しました。なお、前年同四半期は消費税増税前の駆け込み需要により、一部、案件の集中がみられたことから、前年同四半期との比較では減収減益となりましたが、受注残高は前年同四半期を上回る額を確保しており、通期の見通しに沿った進捗は順調です。



プロダクツサービス

米国Twilio, Inc.のクラウドベースメール配信サービスや米国LockState, Inc.の入退室管理クラウドサービスが順調に販売を拡大しました。また、設計者向けCAEソフト、粒子法流体解析ソフトの販売については、前年同四半期には消費税増税前の駆け込み需要が生じたことから、前年同四半期との比較では販売数の減少がみられるものの、通期での進捗は堅調に推移しており、当セグメント全体としては増収増益となりました。



■ 四半期貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

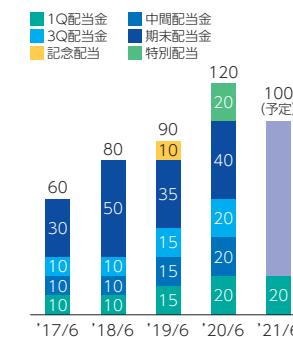
	前事業年度 2020年 6月30日現在	当第1四半期 2020年 9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	5,824,136	4,584,005
現金及び預金	2,014,232	956,413
受取手形及び売掛金	1,952,397	1,105,049
仕掛品	678,208	1,162,058
その他	1,179,298	1,360,485
固定資産	9,108,011	9,458,288
有形固定資産	5,119,390	5,136,819
無形固定資産	430,377	414,823
投資その他の資産	3,558,243	3,906,645
資産合計	14,932,147	14,042,294
(負債の部)		
流動負債	4,483,191	4,197,798
買掛金	282,458	215,953
短期借入金	—	760,000
1年内返済予定の長期借入金	694,332	619,332
その他	3,506,401	2,602,513
固定負債	4,184,101	4,086,206
長期借入金	1,637,839	1,505,506
社債	250,000	250,000
株式報酬引当金	93,561	100,350
退職給付引当金	2,066,986	2,106,391
役員退職慰労引当金	40,000	20,540
資産除去債務	83,583	97,426
その他	12,130	5,992
負債合計	8,667,292	8,284,004
(純資産の部)		
株主資本	6,259,169	5,700,612
資本金	1,010,200	1,010,200
資本剰余金	1,159,926	1,159,926
利益剰余金	4,760,673	4,162,837
自己株式	△671,629	△632,351
評価・換算差額等	5,685	57,677
純資産合計	6,264,855	5,758,289
負債純資産合計	14,932,147	14,042,294

■ 四半期損益計算書 (要旨)

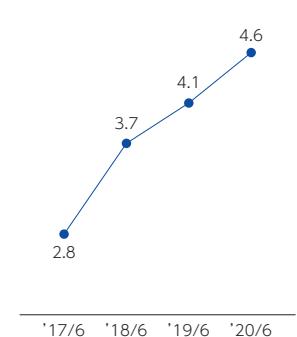
(単位：千円)

	前第1四半期累計 (2019年7月1日から 2019年9月30日まで)	当第1四半期累計 (2020年7月1日から 2020年9月30日まで)
売上高	2,546,170	1,909,994
売上原価	1,176,109	954,218
売上総利益	1,370,060	955,776
販売費及び一般管理費	1,314,808	1,274,602
営業利益又は営業損失 (△)	55,252	△318,826
営業外収益	1,787	5,718
営業外費用	25,292	20,060
経常利益又は経常損失 (△)	31,747	△333,167
特別損失	—	65,056
税引前四半期純利益又は 税引前四半期純損失 (△)	31,747	△398,224
法人税、住民税及び事業税	2,033	2,033
法人税等調整額	12,547	△115,671
四半期純利益又は 四半期純損失 (△)	17,166	△284,586

■ 配当の推移 (単位：円)



■ 配当利回り (単位：%)



(注) 当社は2017年6月期(第59期)より、四半期配当制度を実施しております。

E|V|E|N|T|

第62期定時株主総会を開催しました

2020年9月16日、第62期定時株主総会を開催しました。これまでは毎年当社社屋で行ってまいりましたが、本年はコロナ禍の状況で「密」を避けるため、初めて外部会場での開催となりました。

会場は六本木（麻布十番）にある「国際文化会館」。国際文化会館の庭園ならびに敷地は、江戸時代から幕末にかけて多度津藩（現、香川県）藩主 京極耆岐守（きょうごくいきのかみ）の江戸屋敷であったものです。

会場内は新型コロナウイルス感染症予防のため、隣との間隔を十分にとってご着席いただくような配置としました。入場時の検温、マスク着用、消毒、登壇者席へのアクリル板設置など、出来る限りの対策を施しながらの総会開催となりました。

当日は38名の株主の皆様にご出席いただき、質疑では5名の株主の方から貴重なご質問、ご意見を頂戴しました。ご出席いただきました株主の皆様、改めて御礼申し上げます。



会場内から見える庭園



株主総会 会場内の様子

FOCUS

新設部門「風力発電設計部」のご紹介

当社では2008年頃より風力発電ビジネスへの取り組みを開始しました。そのビジネスのさらなる拡大を目指し、2020年8月に「風力発電設計部」を新設しております。

部門新設の背景

現在、様々な発電方法を組み合わせて電気を供給する「エネルギーミックス」という考え方や、事業運営を100%再生可能エネルギーでまかなうことを目指した「RE100（※1）」という国際的な取り組みが注目されています。それに伴い大型の陸上風力発電事業のみならず、洋上風力発電事業も「再エネ海域利用法（※2）」の後押しを受け、企画から実施段階へ向け動き始めています。

このような社会状況を受け、社内外と柔軟に連携し洋上も含む風力発電全般のエンジニアリングに取り組むユニークなチームを作ることを目指すために、「風力発電設計部」を新設することとなりました。当部では、これまで手掛けてきた陸上風力事業のさらなる拡大を目指すとともに、洋上風力事業において新たな価値を創出することを目標としております。

風力発電業界におけるエンジニアリング組織として、産官学間を橋渡しする活動を通じ、再生可能エネルギーの普及に貢献してまいります。

（※1）世界で影響力のある企業が事業で使用する電力の再生可能エネルギー100%化にコミットする協働イニシアチブのこと

（※2）海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律



ニューノーマルな社会への貢献を目指して

コロナ禍における「新しい生活様式」に対する当社の取り組みとして、これまで約15年間継続してきた人流計測ビジネスを紹介します。本ビジネスに用いている「ピープルカウンター®」はドイツVitracom社が開発した、商業施設や公共空間での人の通過や滞留を高精度でカウントできるシステムです。



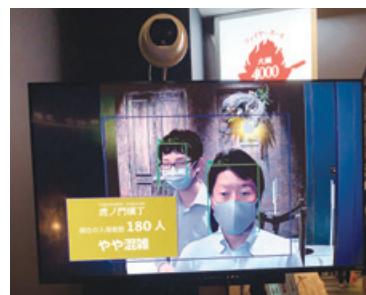
現在、この「ピープルカウンター®」は、森ビル株式会社が管理・運営する虎ノ門ビルズ ビジネスタワー「虎ノ門横丁」にてご利用いただいております。混雑状況をスタッフにアラートとして知らせるだけでなく、出入り口付近で混雑状況をモニターで表示することで、来場者への情報提供や、混雑回避のため入場者数をコントロールすることも可能です。

上記の「虎ノ門横丁」のほか、ホテルや美術館等で本ソリューションをご活用いただいております。特に観光施設や温浴施設から多くの引き合いがある状況です。

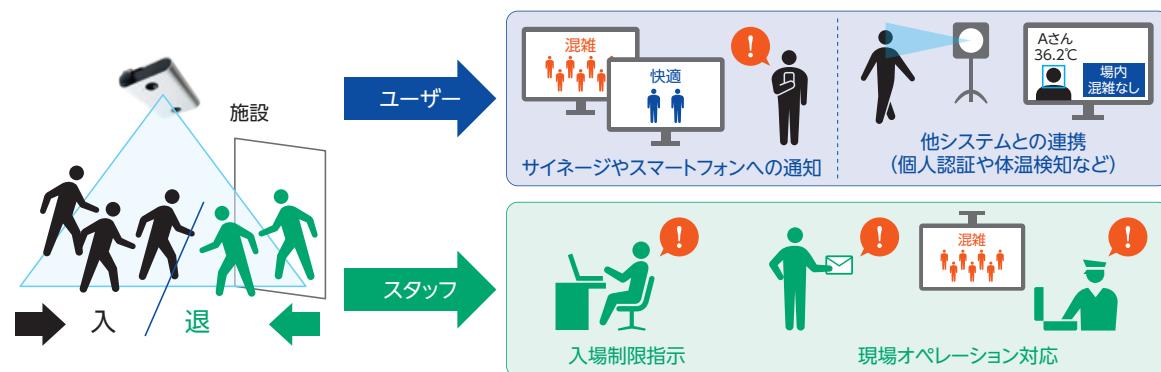
コロナ禍における新しい生活様式から生じる様々なニーズに応えられるよう、人流計測ビジネスの展開を引き続き継続してまいります。



2020年6月に開業した「虎ノ門横丁」



体温の計測と同時に、「ピープルカウンター®」で測定した入場者数と混雑状況を表示



入退の情報から滞在人数を算定し、来場者であるユーザー及び施設スタッフに有益な情報を提供

コロナ禍における海外での働き方

当社では、国内外問わず幅広い活躍の場を所員に提供しております。今回はシンガポールとアメリカに勤務している所員の、コロナ禍での働き方をご紹介します。

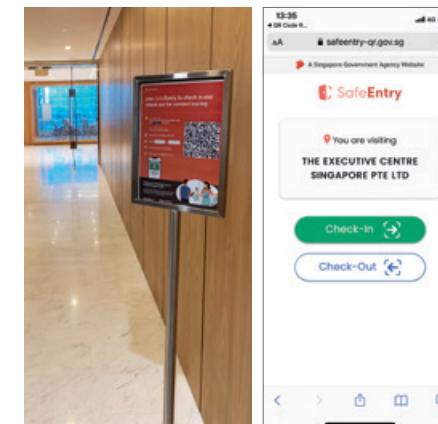
シンガポール

シンガポール政府の要請により、2020年4月から6月にかけて職場が閉鎖されたため、在宅勤務となりました。その後、制限は緩和され、政府による安全指導の下で出社も可能となりましたが、政府による厳しい管理はまだ続いています。

例えば、職場のあるビルや街中の飲食店などの店舗において、「SafeEntry」という仕組みを使ってチェックイン・チェックアウトを政府に報告する必要があります。もう慣れましたが、施設への入退出の度に行う必要があるのが、なかなか大変な状況です。

2020年11月現在、国境をまたぐ移動に対する規制が緩和されつつありますので、通常の往来が再開する日を心待ちにしております。

(KKE SINGAPORE PTE. LTD. 下田 裕之 記)



「SafeEntry」への登録を促す立て看板および登録画面

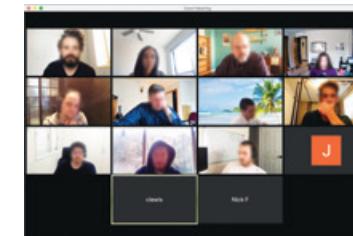
アメリカ

アメリカ コロラド州では、2020年3月に自宅待機命令が発令され、5月初旬まで在宅勤務が続きました。その後、職場人数の25%までは出社できる状況になったので、現在はオフィスでの勤務とリモートワークを使い分けています。リモートワーク時の会議には「Zoom」を用いています。

職場での感染症対策は徹底されています。例えば、フロア内の消毒はもちろんのこと、階段は人が近距離ですれ違わないように、一方通行となりました。また、社員の体調管理も組織的に行われており、出社する際には数日間の体温を会社に報告しています。

以前と比べ、オフィス内で人と直接やりとりする機会は減りましたが、対面でコミュニケーションをとることの重要性を実感しています。リモートワークの良い点も沢山ありますが、大事な話は対面で打ち合わせできるように調整しています。

(米国マーケティング室 瀬戸 隆之、渋谷 麻理 記)



オンライン会議ツール「Zoom」を用いた打ち合わせの様子